学校番号	3009

令和8年度　工業科(建築系)

教科	工業科 (建築系)	科目	建築施工	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	『建築施工』(実教出版)						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ(学習方法等)

建築施工とは、設計図に描かれた建築物を具体化させるために、多種多様な技術者・技能者の技量を総合的に集積させて行う生産活動です。授業において各種建築工事を正しく理解し、工程・品質・安全面について適正な判断能力を付けて、主任技術者として必要となる技術を身に付けましょう。

2　学習の到達目標

(a)建築施工の知識を習得し、設計及び工事監理、工事管理業務に従事する建築技術者に必要な知識と技術を身に付ける。
(b)建築施工の役割を理解し、建設業の主任技術者として必要な思考力と判断力を身に付ける。
(c)施工管理者に関わる外的要因と建築物の成り立ちについて関心を持ち、主体的に取り組む態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	設計及び工事監理、工事管理業務に従事する建築技術者に必要な基本的な知識を身に付け、建築物や工作物を合理的に施工計画し、その技術を適切に活用する能力を身に付けている。	建設業の主任技術者として必要な課題の解決力と思考を、建築施工の基礎的な知識と技術を基に、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築施工に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	躯体工事	1. 地盤調査 2. 仮設工事 3. 土工事・山留工事 4. 基礎・地業工事 5. 鉄筋工事 6. 型枠工事 7. コンクリート工事 8. 鉄骨工事 9. 木工事	a:躯体工事に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:躯体工事に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:躯体工事に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
	仕上工事	1. 防水工事 2. 屋根工事 3. 左官工事 4. 張り石工事 5. タイル工事 6. 金属工事 7. ガラス工事 8. 建具工事 9. 塗装工事 10. 内装工事 11. 特殊コンクリート工事	a:仕上工事に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:仕上工事に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:仕上工事に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
後期	法規	1. 建築基準法上の手続き 2. 建設業法 3. 労働基準法 4. 労働安全衛生法 5. その他の法律 (騒音規制法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設リサイクル法、消防法、道路法)	a:法規に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:法規に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:法規に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート
	施工管理法	1. 施工計画 2. 工程管理 3. 品質管理 4. 安全管理	a:法規に関する基本的な知識を付け適切に活用している。 b:法規に関する主任技術者に必要な思考力、適切な判断力、表現力を身に付けている。 c:法規に関する課題に関心をもち、主体的に取り組む実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出ノート

※ 表中の観点について a:知識・技術 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度